

In SituファイバーUV モニタリングシステム

試験液の自動添加、攪拌、温度制御機能システム搭載
小ボリュームのAPIの溶出測定、浸透性測定システム

◎ API の溶出速度の測定

API の結晶形態や塩形態の違いによる溶出速度の評価

◎ PH シフトモデルの溶出速度の測定

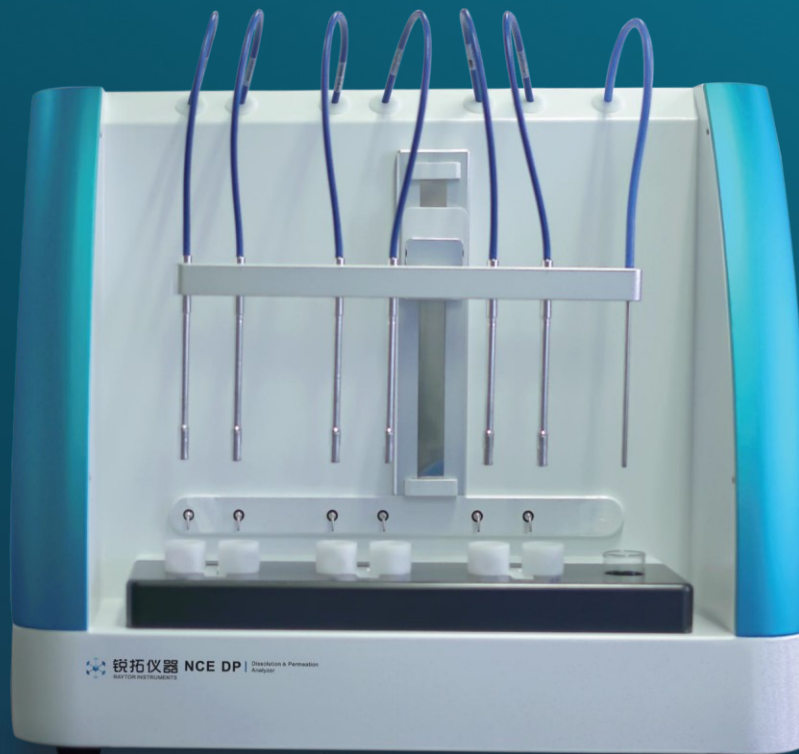
胃腸管における胃十二指腸移行のシミュレーション及び薬剤の効果の評価

◎ 薬物浸透性の測定

小腸上皮細胞を模倣した PAMPA膜と組み合わせて、薬物の浸透性を分析

◎ 製剤の溶出速度の測定

添加剤や粒子形状の違いによる溶出速度の評価



- ドライヒート攪拌装置
- 高精度試験液注入装置
- 温度監視装置
- UV発生受信装置

の4つの主要部分で構成されています。UV発生受信装置は6本のUV光ファイバーで構成されており、試験開始時に昇降機構によって自動でサンプルに挿入され、試験中のサンプルのUV信号をリアルタイム（5秒以内）で収集し表示します。



装置サイズ(本体)	600mm x 600mm x 500mm
反応セル数	6 または 3 (透過性測定の場合ドナーセルとレシーバーセルで1セットのため)
添加試薬の数	2 (2種類までの試験液を添加可能)
光ファイバーチャネル	6
時間正確さ	± 1 min
攪拌速度	100 ~ 1000rpm
攪拌速度正確さ	50rpm で 10% 未満
温度範囲	室温 +5°C ~ 40°C
温度制御精度	± 0.5 °C
液量範囲	2 ~ 20ml
液体添加精度	< 1%
UV 光範囲	200 ~ 600nm
UV 光強度	純水の光ファイバーテスト、積分時間を 50ms 254nm に設定、元のスペクトル値に対応して >20000
波長正確さ	1nm

PCを接続し、付属のスペクトル分析ソフトウェアから制御します。試験方法を設定すると、NCE DPは自動的に試験を実行し、試験中のスペクトル信号を自動的に収集します。

当ソフトウェアに内蔵された数学モデルにより、曲線の平滑化、膜透過係数、溶出速度、浸透速度、総溶出、総浸透などの自動計算ができるため、取得したプロファイルの煩雑なデータ処理の負担を削減します。

ソフトウェアはスペクトルオーバーレイやスタッキングの機能を有するため、異なる処方条件下の溶出プロファイルと浸透プロファイルの違いを画面上ですばやく比較できます。



輸入代理店

株式会社アイビック・リサーチ

TEL:029-875-4739

<https://www.ivicres.com/>

〒300-1222 茨城県牛久市南2-7-67